

第22回市民との意見交換会・報告書（神指地区）

開催地区：神指地区	開催日時：令和元年5月9日（木） 18時30分 ～ 20時10分
担当班：第4班（出席議員）石田典男、松崎 新、中島好路、古川雄一、原田俊広	（欠席議員）なし
開催場所：中央公民館神指分館	
参加人数：男性7名、女性0名、合計7名（うち班外議員0名）（他自治体等傍聴者0名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括 神指地区の将来のビジョンづくりについては、複数の方々から今から丁寧につくるべきとの意見が出された。指摘事項として、市街化調整区域のあり方について出された。市街化調整区域については、さらに深めた意見交換が必要である。</p> <p>2. 地区別テーマでの意見交換についての総括</p> <p>(1) 地区別テーマ 「神指地区における子育て支援について」</p> <p>(2) テーマ設定の理由、背景 未来を担う若者や子どもたちへの支援について当事者や経験者、地域の方々の声を聴き政策に反映させたい。</p> <p>(3) 主な地域課題 将来のビジョンもなくまちづくりができるのか。まちづくりについて考えることが重要。その中で少子高齢化、小・中学校の児童・生徒についても考えなければならないとの指摘があった。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
まちの拠点整備について伺いたい。会津若松駅前 の基盤整備の見直しについて説明していただき たい。	2月定例会で建設部の予算に会津若松駅前都市基 盤整備事業費57,075,000円が計上された。駅前の 道路について基本的に調査を行うもので、飯盛山 から駅前までと上荒久田からきて会津若松駅近く の踏切改良工事、そして大町通りの整備に係る道 路の接続をどのようにしていくのか調査を依頼す るものである。調査結果を受けて、東日本旅客鉄 道(株)、日本貨物鉄道(株)、会津乗合自動車(株)、会津 若松市が協議をする前提としての予算となる。ま た、この事業については、総務委員会でまちの拠 点について協議説明がされてきた。平成28年度に は、駅前広場についての調査が委託されさまざま なパターンについて報告を受けてきたところであ る。	○	①		まちづく り
神指小学校と永和小学校の統合について住民の間 で話が聞かれるが、統合に向けて進んでいるか。	現時点で、教育委員会は、神指小学校と永和小学 校の統合を考えていない。議会に対して統合につ いての報告もない。	○	①		学校施設
農村地帯の子どもが減少している。その要因とし て、若者が親と同居しなくなっている。後継者が 他の地区で借家を借りて生活することで神指小学 校の児童数が減ってきている。地域の中に新たな 住宅を自由に求めることができる環境を整えれば地 区に帰ってきて住むようになる。	都市計画の問題、市街化調整区域の問題を整理し 次に向けた政策をつくる必要がある。権現堰の開 発は休止しその後解散となった。一つの事例とし て、城前住宅の現状は高齢者が住む団地ですが、 今整備をして若者が住めるようになる計画になっ てきている。	○	①		まちづく り 都市計画
神指地区は道路、橋の整備ができてきた。子育て のためには、地区の中に住む場所、若者が働く場 所が必要となる。神指地区の将来を見据えた方向 性を考える時期ではないか。市街化調整区域を外 してほしい。	貴重な意見として受け止める。	○	②		まちづく り 都市計画

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
<p>将来のビジョンもなくまちづくりができるのか。まちづくりについて考えることが重要。例えば、門田地区には、工業団地を3カ所増設した結果、オリンパスをはじめ多くの企業が誘致された。そこに勤める従業員の中には、門田地区に土地を購入し住居を構える方がいる。若者の定住と子どもの数の増加により、門田小学校1校だった小学校が門田小学校、城南小学校、小金井小学校の3校になった。神指地区の将来を見据えるビジョンをつくり、企業を誘致し若者の定住で地域が活性化するのではないかと考える。</p>	<p>貴重な意見として受け止める。</p>	○	②		まちづくり
<p>阿賀川新橋梁が完成しようとしている。その取り付け道路建設が止まっている。高瀬地区が反対していることで、道路建設が進展していないことに対する議会の考えは。</p>	<p>この事業に対する議会としての見解についてだが、市議会としては答えることができないと考える。その理由は、事業主体が県の事業であり、市はその支援をしている。また、市議会は、市の事業に対し議会と執行機関の質疑を通し意見を整理することができるが、この事案についてはできないことから、答えることを控えさせていただく。</p>	○	①		橋りょう
<p>現在の市工業団地の空き状況と今後の新工業団地開発について伺いたい。市の人口増加に向けての考えについてだが、高校卒業後県外に出ていく、その一方で働き手不足になっている。市としてどのように考えているのか。</p>	<p>現在、市の工業団地に空きはない。企業誘致には、新たな工業団地の開発が必要になる。今年の2月議会では、「市工業振興計画をつくる方向で、計画策定と同時に新工業団地を考えることになる」との答弁があった。市工業振興計画策定時には、複数の新たな製造が可能となる企業を支える計画が出され、そこで、新工業団地の造成と雇用確保と人口増加に向けての取組が行われることとなる。企業誘致に向けては、災害に強い会津若松市を訴えていく方向性についての答弁もあった。</p>	○	①		地域経済

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類 番号		備考	※項目 キーワード
<p>国道118号のバイパスが開通した。市では、道の駅の整備計画はないのか。神指地区には絶好の場所がある。会津33観音と神指城跡の付近である。道の駅を利用した神指地区の賑わいをつくる必要がある。</p>	<p>国の補助を受け道の駅を設置するときの条件として、隣接する道の駅から半径5km以上の制限があることから、神指地区に道の駅を設置することは困難であるが、そのような要望があったことを報告させていただく。</p>	○	①		地域経済

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「神指地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	・子どもの成長に合わせた支援について			
	地区の子どもが少ないので、例えば小学校の運動会でリレーを組むことができない等団体活動が思うようにできない。			
	中学校でも生徒数が少ないため団体競技は、サッカー、野球、剣道と限られている。児童・生徒数が少ないことは、子ども、保護者、先生が自由に思うような活動をすることに支障をきたす結果になっている。			
	・子どもの遊び場、学ぶ場について			
	児童数が減少して集落の中で遊んでいる子どもの姿を見かけなくなっている。低学年は、こどもクラブや放課後子ども教室があればそこに通わせることができる。高学年は、学校行事やスポーツ少年団活動に駆り出されているのが現状である。			
	・地域別の子育てについて			
	低学年の子どもは、家に帰ってくると集落内に同世代の子どもがいらないため遊べない。こどもクラブや放課後子ども教室に通うことになればそれが解消されるが、休日は家の中で遊ぶことになる。			
	・地域で育てる子どもの環境について			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「神指地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	国道121号、国道49号、高速道路付近において、横断歩道専用の信号機がなく、交通指導員もいない。特に低学年の児童は、朝の通学時には親がついて行っている現状である。			
	少子化の要因の一つに若松6中校区は、市街化調整区域で住宅を自由に建てられない制約があり若者が移転し生活することができない。その結果子どもが増えない。今後どのようにまちづくりを進めるのが課題である。			
	議会は、4月22日神指地区の中学校役員の方から子育て支援の上記4つの項目について意見を伺った。子育て支援について議会が取り組むに当たり、神指地区の皆様方からも課題や問題について教えていただきたい。			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「神指地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>子どもたちの環境を守ることに、小さい子どもの交通事故防止に向けた問題がある。神指地区青少年育成協議会は、子どもの見守り活動を行っている。その話し合いの中で出されたのが、登下校の通学時の交通事故防止に向けた見守りを多くの企業、個人の参加者を呼び掛け実行したいということでした。具体的には、企業、個人などの乗用車に「見守り隊」の表示をマジックテープでつけて地区全体で子どもを見守っているという意思表示を行うことであり、この取組を通し交通事故防止につながるのではないかと提案があった。その後、神指地区青少年育成協議会では、実施に向けて検討してきたがいまだに実施されていない状況である。そこで、子どもの見守り活動の実施に向けて、活動費と、備品購入に向け市の予算を確保できないか。</p>	<p>あいづ商工信用組合のバイクに同じような取組がある。また、予算の確保については、門田地区区長会の取組があり、小・中学校のボランティア活動としての見守り隊のグッズを提供すべく、区長会が各小・中学校に寄付をし、その寄付金を利用して見守隊のグッズを購入し支給している事例がある。</p>	○	①	
<p>神指小学校の入学式、今年の新入生は9名だった。10名以下は、初めてと聞いている。教育委員会が学区を変える思い切った手を打たないと、神指小学校が統合、吸収になってしまうのではないかと危惧している。小規模校を嫌い保護者の判断で私立の学校に入学することになれば、さらに神指小学校に入学しなくなってしまう。ここで将来に向けた神指小学校のあり方について考えなければいけない時期に来ている。</p>	<p>市内の小学校は一箕小学校と小金井小学校以外は児童数が減ってきており、神指小学校、湊小学校、大戸小学校は全校児童数100名を切っている。将来に向けた何らかの対策が求められているのは議会としても認識しているところである。</p>	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「神指地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>市として少子化対策の抜本的な解決策を立て、実行しないと改善することができないと考える。そのためには政策的に複数の施策を行うことだと考える。例えば市街化調整区域を外すこと、住宅地を開発して若者が住居を求め定着し、企業を神指地区に持ってくることである。将来のビジョン、きちんとした方向性を出すべき。また、小学校の児童数が減っていることから、神指小学校と永和小学校を統合してスクールバスで通えばいいという声を聴いている。</p>	<p>少子化対策と雇用確保について、現在、河東工業団地と徳久工業団地に企業誘致をしており、空きスペースがなくなった。そこで、次の新工業団地の造成についての政策課題がある。また、若者の就職先を確保するための取組としてICTオフィスビル建設がある。今年4月オープンとなり、今後450名規模の就職を予定している。地元の若者の就職、会津大学卒業生の受け皿、そして首都圏のエンジニアの方々とその家族の定住に期待している。企業との懇談会では、転勤して会津若松に来ることについて、子どもと家族で移住するには、住環境、教育と進学、医療機関など多くの課題と問題があることが出されているとの報告が議会にあった。今後、少子化対策と雇用確保について環境づくりを進めていきたいと考える。</p>	○	①	
<p>今年の神指小学校の新入生が9名。運動会や、小学校行事などの団体競技、活動について危惧している。神指地区に住んで良かったと思えるような子育て環境づくりを求めたい。</p>	<p>地区のゾーンごとに住みよい環境づくりを行っています。ご理解ください。</p>	○	②	